

2023
秀作

第21回「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール

風評から故郷を守るために

福島県・尚志高等学校 2年 佐藤 胡幸

「風評被害」。多くの人がこの言葉を知っているのではないだろうか。改めて風評被害とは何か簡潔に明示すると『風評被害とは事故や事件の後、根拠のない噂や憶測などで発生する経済被害』である¹⁾。

私の住んでいる福島県は海や山、湖などの豊かな大自然と歴史を感じることでできる名所が数多く点在する場所だ。また、様々な名所だけでなく桃や魚、地酒なども有名である。もちろん私には地酒の美味しさは分からないが福島の地酒を前にすると心を躍らせている父の姿からその味のすばらしさが伝わってくる。福島の地酒が美味しいのは米や水が美味しい証拠だ。つまり、福島県は「食」の魅力も底が知れないのだ。

しかし、2011年3月11日福島県は東日本大震災により被災した。そして、それともなう福島第一原子力発電所事故により風評被害を受けている。県では風評被害を払拭するため「風評・風化対策強化戦略」などの取り組みを行い日々風評払拭のため努力を続けている。震災から12年、日々の努力が実を結び「放射物質を理由に福島県産物の購入をためらう人は過去最少」²⁾となるなど福島県の風評被害も落ちつきを見せている。しかし風評に関する課題が全て解決したわけではない。震災直後の県産品の価格低下に比べ全国平均との価格差は縮小しているが桃や牛肉などの福島が誇る県産品は現在も全国平均を下回る価格で止まってしまっている。また、近ごろは原子力発電所の処理水海洋放出について各メディアで取り上げられることが多くなった。それにより国内外で風評ともとれる意見や迷惑行為といった被害がでていく。私は今回、風評被害をテーマにするにあたりできるだけ多く処理水海洋放出についての記事や報道に目を通した。そこで感じたことは処理水海洋放出が本当に安全なのか理解するにはある程度の専門的な知識が必要であるということだ。これらの記事や報道は専門家に向けたものではなく私たち一般人が理解を深められるものでなくてはな

らないと考える。例えば私が一つの記事を読んで処理水海洋放出について理解するにはトリチウムとは何か、ALPS処理水はどんなもので本当に安全なのか知っている必要があった。私が調べた結果トリチウムは自然界にも広く存在している物質であり濃度次第では問題にならないこと、ALPS処理水とはこのトリチウム以外の放射性物質を安全基準値を満たすまで浄化した水であることが理解できた。また、今回放出されるトリチウムの濃度は1,500ベクレルパーリットル未満。これはWHOが定める飲料水基準の約7分の1の濃度であることが分かった³⁾。私はこれを知って驚いた。飲料水基準を下回る濃度に薄めて安全対策をとっているという事実が一般的な記事や報道を聞いただけでは明確に伝わりきっていないことに対する驚きである。記事や報道でここまで明確かつ簡潔に処理水の安全性を伝えるべきではないだろうか。この考えに対して分からないことがあるなら自分で調べればよいという意見もあるだろう。しかし、私のような学生や県外に住んでいる人がテレビやネットのニュースを見て興味を持ちわざわざ調べ、難しい話題を理解しようとするだろうか。不安や疑問が多いものは詳しく調べて理解する前に避けてしまうほうが楽だろう。それにより正しい知識を身につけ、安全性を理解せず避けられてしまうという問題がおきる。こうした現象は確かな風評被害とは言えないものの風評被害といえるだろう。このような被害を出さないためにもマスメディアの報道はより簡潔に分かりやすく安全性を伝えることが重要だ。

しかし、風評被害払拭には安全性を伝えるだけでなく安心を届けることが必要だ。人は安全なものであっても不安があると何事もためらってしまうことが多いはずだ。私自身も安全性を理解できても今後はどうなるか分からない不安から安心はできていない。安全であることは安心するための大事な要素だと思うがそれだけでは不十分だろう。そして、この安心は国内だけでなく国外にも届けていく必要がある。それは国外からも不安や反発の声があげられているからである。また、国外から風評被害を受けることは日本の貿易にも損害をもたらすことになるだろう。実際に迷惑電話などの迷惑行為が発生している。このような被害は絶対にあってはならない。この風評被害払拭のために県だけでなく国が最後まで責任を持ち問題解決に取り組んでほしい。

私はここまで風評被害払拭のために安全性を伝えることと安心を届けること

の重要性を話してきたがもう一つ風評を広めないために必要なことがあると思う。それは福島の魅力をより多くの人に知ってもらうことだ。福島の魅力を知り興味を持ってもらうことで原発やその処理水などについて正しい知識を身につけ、考えるきっかけにつながると私は考える。また、風評被害払拭のために安全性を伝えることももちろん大事だが何より大切なのは福島という地域の魅力を伝え、福島に対してプラスのイメージを持ってもらうことだ。

震災から12年。あの経験を絶対に忘れてはならないという思いを持ちながら前を向いて歩いていく福島県の姿、美しい福島をたくさんの人に知ってもらうことこそが風評被害払拭のために一番重要なことだと考える。根拠のない噂や憶測で私たちの経済そして生活に被害が与えられることは絶対にあってはならない。だからこそ正しい知識を身につけ風評のない世の中にしていく必要がある。私は、これからの福島の未来を担う世代として生まれ育った福島県を守り、一日でも早い完全な復興を遂げるため全国、全世界へその魅力を伝えていきたい。

(注)

- 1) 参議院「質問主意書：いわゆる『風評被害』に関する質問主意書」

URL <https://www.sangiin.go.jp/japanese/joho1/kousei/syuisyo/186/syuh/s186117.htm>

閲覧日 2023年8月25日

- 2) NHK「福島県産の食品購入『ためらう』過去最少 消費者庁意識調査」

URL <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20230310/k10014004931000.html>

消費者庁「風評に関する消費者意識の実態調査(第16回)について」

URL <https://www.caa.go.jp/notice/entry/032410>

閲覧日 2023年8月25日

- 3) 経済産業省ALPS処理水特設ウェブサイト ALPS処理水について知ってほしい5つのこと

「1 ALPS処理水って何？本当に安全なの？」

URL https://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/hairo_osensui/shirou_alps/no1/

経済産業省ALPS処理水特設ウェブサイト ALPS処理水について知ってほしい5つのこと

「2 トリチウムって何？」

URL https://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/hairo_osensui/shirou_alps/no2/

閲覧日 2023年8月25日

